

やいはば

議我会だより

207

2019.1.16

岩手県
矢巾町議会



歳末助け合い演芸会
(関連記事… P 24)

政務活動報告

先進地視察を町政に生かす 2

一般質問 12 議員 町政を問う

次期町政を担う決意は 9

交通に関する調査特別委員会報告

デマンド型タクシーは戸口対応を 22

町政に生かす

各会派の政務活動費を活用した視察や研修で得たものを提言していきます。

農業振興・6次産業の取り組み

北海道 美幌町
びほろちょう

一戸当たり耕作面積25ヘクタール。従来のムギ・ジャガイモ・玉ネギ等の地産6次産業化を推進。(長イモの海外輸出、規格外ジャガイモのカップグラタン、生ラーメンや乾麺の開発で小麦のブランド化など)

近年はアスパラガスのハウス栽培で10カ月間出荷して、冬から春季の収益確保につながっている。

アスパラガスは、北海道大学、普及センター、JAと連携し試験研究と普及推進を行っている。

…視察を終えて…

水田転作の耕作地も含めた畑作の通年栽培や土壌、農形態態に合った主力作物を研究調査し、6次産業化を関係各所と連携し進める必要性を感じた。



地元木材で造られた遊具施設も視察 (美幌林業館)

日程：平成30年7月9日
参加会派：町民の会 (3名)
やまゆり会 (3名)
矢巾明進会 (2名)
公明党 (1名)

地場農産物の付加価値向上

北海道 北見市 株式会社グリーンズ北見



玉ネギ加工場 (グリーンズ北見)

日程：平成30年7月10日
参加会派：町民の会 (3名)
やまゆり会 (3名)
矢巾明進会 (2名)
公明党 (1名)

…視察を終えて…

株式会社グリーンズ北見は、北見市・振興公社・JAによる第3セクターからスタートして、現在の株式会社となる。規格外玉ネギを加工したオニオンソテー、ペーストの冷凍食材、コロッケ等の冷凍食品や規格外の加工。さらに付加価値を加え安定した売り上げとなり、地域雇用にも果たす役割は大きい。

本町でも、コメ、リンゴ、シイタケ、野菜類と材料は豊富。規格外は捨てるか自家消費で処分しているのが現状。近年は核家族や女性の社会進出もありカット野菜等の人気も高い。社会情勢を見ながら行政やJA、企業と連携し対応も必要であると感じた。

先進地視察を

従来、農地にソーラーパネル設置は許可されなかつたが、光を確保し営農しながら発電事業が可能となった画期的な取り組みである。パネルの下に農作物を栽培し、収穫量確保と売電による農家の経営安定を図っている。原発事故を乗り越え将来子孙に農業を残す目標で地域住民がワークショップ等に取り組んでいた。

営農型太陽光発電による農業経営

福島県 南相馬ソーラーヴィレッジ



太陽光発電パネルの下の農地 (南相馬ソーラーヴィレッジ)

日 程：平成30年7月31日
 参加会派：一心会 (6名)
 矢巾明進会 (1名)
 日本共産党 (1名)

…視察を終えて…

栽培する作物は収穫量が地域単収の8割以上必要なため選定が難しい。農地転用の申請が必要である。
 現在太陽光の売電価格が1キロワット当たり18円で、現段階での事業化には工夫が必要であると感じた。

地方創生総合戦略の取り組み

千葉県 旭市

総合戦略の中に地方創生事業を位置づけ、長期計画で取り組んでいる。
 施策の目標値を決算期ごとの数値で公表。まちづくり総合計画の評価を年度ごとに、事業推進を全庁で取り組み一体的に検証されている。次年度に向け重点事項が判断しやすい。

…視察を終えて…

本町でも総合計画などの長期にわたる計画を、一部の組織で検証するのではなく、多くの意見を聞くべきである。各課横断的に連携して取り組む評価方法が望まれる。



総合戦略に基づき設置した道の駅 (季楽里あさひ)

日 程：平成30年8月1日
 参加会派：一心会 (6名)
 矢巾明進会 (1名)
 日本共産党 (1名)

政務活動報告

より良いまちへ

定住促進に向けた支援策

鳥取県 鳥取市

鳥取市は平成18年をピークに人口減少が進み13年間に1万3000人が減少した。

移住促進の取り組みとして相談支援窓口設置のほか、空き家情報の提供や13項目の支援策等を実施し、累計2815人の移住者を迎えた。平成29年には、田舎暮らし専門誌で住みたい田舎のベストランキング全国1位になり、テレビ取材等で鳥取市を広くPRできた。

支援策には職業紹介やお試し定住体験など興味深い試みがあり、ワンストップで相談できる。

…視察を終えて…

移住には住居・子育て・働く場所の確保など、多岐にわたる対応が必要である。本町でも空き家利用や移住相談窓口の設置などの対策が望まれる。



鳥取市役所で定住促進の説明を受ける

日 程：平成30年11月6日
 参加会派：町民の会（3名）
 やまゆり会（2名）
 矢巾明進会（1名）

その他の視察研修

日程	参加会派	視察先	視察内容	…視察を終えて…
7/11	町民の会（3名） やまゆり会（3名） 矢巾明進会（2名） 公明党（1名）	北海道さっぽろ情報館 （札幌市）	「食と観光」情報館の役割と現状	医大開院後の交流人口増加を見込み、町農畜産物・観光の情報発信が必要である。
7/24	一心会（4名） 町民の会（2名） 矢巾明進会（1名） 日本共産党（1名）	農事組合法人 岩手薬草生産組合 （岩手町）	薬草栽培状況を視察し農業の安定経営、産業振興促進	湿地に不向き・連作できない・水田転作等が難しい等の問題があり、取り組むには研究が必要である。
8/2	一心会（6名） 矢巾明進会（1名） 日本共産党（1名）	匠瑳メガソーラー シェアリング発電所 （千葉県匠瑳市）	営農型太陽光発電による農業経営の取り組み	ソーラー設備の下は、農業機械作業が可能であり、売電価格との採算性が課題である。
10/15	町民の会（3名）	国指定旧池田氏庭園 弘田柵跡 （秋田県大仙市）	国指定史跡等の文化財を生かした地域づくり	本町唯一の国指定史跡である徳丹城を観光の目玉として整備活用するべきである。
11/6	町民の会（3名） やまゆり会（2名） 矢巾明進会（1名）	南部町役場 （鳥取県南部町）	地域生活支援システムのモデル事業	民家を改修し地域ボランティアによる高齢者見守り活動を行っており、本町でも施設頼みだけでなく今後の対策が必要である。

医大前道路改修進む

10月会議

人事案件

農業委員の任命

中立委員に欠員が生じたことによる任命



佐藤 俊孝さん
(南矢幅2区)

任期は平成33年4月23日まで

工事請負契約

町道堤川目線堤川目橋 橋梁新設工事

スマートインターチェンジ関連の道路拡幅に併せた橋梁の新設工事を、約1億6260万円で行います。

渡花橋橋梁補修その1工事

赤林地内の鹿妻本堰排水路に架かる町道大沼線の橋梁補修工事を6372万円で行います。

町道中央1号線道路改良 その3工事

岩手医科大学附属病院前の東側車線の拡幅工事を2億9160万円で行います。

工事の完了時期は

質問 東小から医大キャンパスまでの道路工事は開院までに完了するのか。また信号機の規格等はどうかの。

回答 工事全体は8月までに終わるようにする。信号機等の安全対策を含めた協議を関係機関と行っていく。

補正予算

主な内容は下記のとおりです。

10月29日に開催された10月会議では、工事請負契約の締結が3件議決されたほか一般会計の補正予算が議決され、総額約125億8813万円となりました。



拡幅が進む岩手医科大学附属病院前の町道中央1号線

主な歳出

- ▼町税還付金・返還金 224万円
- ▼未熟児養育医療扶助費 134万円
- ▼矢巾町公民館整備事業 938万円
- ▼田園ホール管理事業 451万円

還付金の内容は

質問 町税還付金の内容は。
回答 道路改良により固定資産の課税内容が変更になったため税還付が生じた。

町公民館工事の周知

質問 町公民館・田園ホールの外壁工事期間中の利用可能日程を町民に周知しては。
回答 外壁補修工事は2カ年計画で、平日に大きい音のする工事を行い、土日祝日の利用に影響しないようにする。さらに広報等で周知していく。

主な歳入

- ▽財政調整基金繰入金 781万円
- ▽田園ホール・公民館の工事事業債 1190万円

議会で決めたこと

田園ホール外壁改修を

11月14日に開催された11月会議では、字の区域の設定等について2件議決されました。また、12月4日～13日までの10日間で開催された12月会議では、4件の条例、3施設の指定管理者の指定等について議決されました。補正予算では一般会計、3特別会計及び2企業会計が提案され審議は予算決算特別委員会に付託されて、附帯決議を付して可決されました。一般会計の総額は約137億7224万円となりました。

11月会議

字の区域変更の議決

町の区域の設定に伴い医大通、駅東に変更になります。

住民説明会の内容は

質問 住民説明会の内容と今後の予定は怎么样了。
回答 医大通関係は3回の説明会を行い、いずれも異論はなかった。4月に本人に通知する予定である。

質問 住居表示の実施予定日はいつごろか。
回答 区画整理事業の換地処分と関連があり6月下旬から7月ごろに予定している。

12月会議

条例

特別職の職員の給与に関する条例

人事院勧告に基づき、条例を一部改正します。

町長等の特別職について期末手当を引き上げます。

反対討論

人事院勧告に基づくということだが、特別職がそれに従うべきかは疑問である。

本議案は議員の期末手当の引き上げにもつながる。議員報酬の増額には議論が必要と考えることから反対である。

昆 秀一

町自殺対策計画

審議会設置条例

自殺対策基本法に基づき町長の付属機関として設置。住民組織の代表、精神科医、自殺対策専門職員の10人以内で設置します。

委員の選出は

質問 一般公募は行うのか。
回答 現段階では自殺の課題に沿った委員を選任する。今後検討する。

老朽化による外壁の亀裂などの改修工事を1億3824万円で行います。

工事請負契約

町公民館・田園ホール 外壁改修工事

老朽化による外壁の亀裂などの改修工事を1億3824万円で行います。

工事期間は

質問 必要な工事予定期間は。
回答 今年度は足場工事である年度が本工事の予定である。



2力年で外壁工事を行う田園ホールと町公民館



ふるさと納税の返礼品として期待される地場産品

補正予算

主な歳入

- ▽学校施設整備費補助金 1億2465万円
- ▽農業振興費補助金 593万円
- ▽ふるさと納税寄附金 2億2000万円

主な歳出

- ▼ふるさと納税運営委託料 6010万円
- ▼ふるさと納税返礼品等 1億4454万円
- ▼小中学校整備事業 6億7515万円
- ▼予防接種事業 2499万円

ふるさと納税

質問 ふるさと納税委託料の内容は。

回答 5つの運営会社に寄付額の12～15%の範囲で支払っている。

質問 ふるさと納税寄附金の年度末見込みは。

回答 14億2000万円を見込む。

質問 年度末の経費を引いた実歳入は。

回答 約3割の4億2600万円と見積もっている。

エアコン設置は

質問 電気料金を考慮し、ランニングコストを仕様書に明示すべき。

回答 配慮した発注を考える。

返還金の内容は

質問 農地中間管理事業集積協力金の返還金の内容は。

回答 農地の売買と分家住宅建設のため、貸出契約を解除した。

予算決算常任委員会

附帯決議

小中学校への空調設備整備について、平成31年の酷暑期までに設置が完了するよう鋭意努力されたい。

また、発注にあたっては、電気設備の設計・機種の選定には十分調査検討し、ランニングコストが低廉になるような仕様を検討されたい。

指定管理者の指定

勤労者共同福祉センター

盛岡地区勤労者共同福祉センターの実績を評価し引き続き5年間指定管理者とします。

町民総合体育館・かっこっぐらウンド

町との連携とサービス等の実績を評価し、矢巾町体育協会を引き続き5年間指定管理者とします。



多くの人でにぎわう岩手流通センター活き活き祭
(矢巾勤労者共同福祉センター)

各議案の採決状況

平成30年定例会10月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果			
		赤丸 秀雄	水本 淳一	廣田 清美	高橋 安子	齊藤 正範	村松 信一	昆 秀一	藤原 梅昭	川村 農夫	山崎 道夫	高橋 七郎	長谷川和男	川村よし子	小川 文子		藤原 由巳	藤原 義一	米倉 清志
第85号	町農業委員会の委員（1名）の任命に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第86号	人事異動により税務課長を固定資産評価員に選任する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第87号	町道堤川目線堤川目橋橋梁新設工事請負契約…… 煙山地内の岩崎川に堤川目橋を新設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第88号	渡花橋橋梁補修その1工事請負契約……赤林地内の渡花橋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第89号	町道中央1号線道路改良その3工事請負契約…… 藤沢地内の町道中央1号線の道路改良	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第90号	町都市計画マスタープランの変更…… 将来に向けた都市づくりを推進するため、社会状況や制度の変化に対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第91号	平成30年度一般会計補正予算……2120万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成30年定例会11月会議

第92号	町の区域の設定並びにこれに伴う字の区域の変更及び廃止…… 町名：医大通一丁目、医大通二丁目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第93号	町の区域の設定及びこれに伴う字の区域の変更…… 町名：駅東一丁目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成30年定例会12月会議

第94号	紫波、稗貴衛生処理組合の解散に伴う総合事務組合の数を減少させる変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
第95号	紫波、稗貴衛生処理組合規約の一部変更に関する議決…… 解散後に必要な事務を紫波町が継承する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
第96号	町自殺対策計画の策定等に関して調査審議するため、新規に審議会を設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
第97号	岩手県収入証紙の購入に関する事務を円滑かつ効率的に行う条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
第98号	人事院勧告による特別職の給与額を改定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
第99号	人事院勧告による一般職の給与及び宿日直手当の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
第100号	町公民館・文化会館外壁等改修工事請負契約…… 契約金額1億3824万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
第101号	勤労者共同福祉センターに係る指定管理者の議決 指定管理団体 盛岡地区勤労者共同福祉センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
第102号	町民総合体育館及び町屋外運動場に係る指定管理者の議決 指定管理団体 矢巾町体育協会	退	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	欠	可
第103号	平成30年度一般会計補正予算……約11億8411万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
第104号	平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算…… 約588万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
第105号	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算…… 約60万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
第106号	平成30年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算…… 135万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
第107号	平成30年度水道事業会計補正予算…… 資本的支出約234万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
第108号	平成30年度下水道事業会計補正予算…… 公共下水道資本的支出約1373万円の増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
発議案 第6号	人事院勧告に準拠した議会議員期末手当の改定	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決 否=否決 同=同意 欠=欠席 退=退席 注：廣田光男議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと



町政を問う

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

12月会議では12人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●長谷川 和 男 議員 ……P10

- ①町長の再選出馬
- ②ウエルネスタウンとして目指す姿とその取り組みによる町の変化
- ③大学や企業等との協定による効果
- ④本町の将来人口目標3万人
- ⑤第7次矢巾町総合計画の事業達成への決意と意気込み

●高 橋 安 子 議員 ……P12

- ①地域包括ケアシステムの取り組み
- ②引きこもりへの支援
- ③本町の先人教育
- ④普代村とのさらなる交流

●水 本 淳 一 議員 ……P14

- ①歴史的風致維持向上計画
- ②小中学校の学力向上の取り組み
- ③ごみのポイ捨て撲滅の取り組み

●赤 丸 秀 雄 議員 ……P16

- ①義務教育環境における現状と課題
- ②健康に係わる町の取り組み
- ③地域公共交通の方針

●川 村 農 夫 議員 ……P18

- ①開発行為に伴う治水対策
- ②地域計画の視点欠落
- ③中心中核の施策に周縁弱者は切り捨てか

●川 村 よし子 議員 ……P20

- ①学校給食費無料化の情勢
- ②福祉施設・教育施設へのエアコン設置
- ③国保税の均等割減免

●昆 秀 一 議員 ……P11

- ①投票率の向上
- ②がん対策
- ③ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり
- ④少子化対策
- ⑤非営利法人・団体の役割と町との関係

●村 松 信 一 議員 ……P13

- ①県央ブロックごみ処理施設と盛岡・紫波地区環境施設組合施設
- ②矢巾町公共施設等総合管理計画
- ③平成31年度当初予算編成の基本的考え

●齊 藤 正 範 議員 ……P15

- ①まちづくりの考え
- ②新農業委員会の活動方針

●廣 田 清 実 議員 ……P17

- ①町営住宅対策
- ②異臭問題の解決
- ③人口3万人構想

●小 川 文 子 議員 ……P19

- ①ふるさと納税の返礼品見直し
- ②デマンドタクシー運行
- ③町営住宅の改修
- ④子どもの医療費助成

●山 崎 道 夫 議員 ……P21

- ①定住人口増に向けた土地利用の取り組み
- ②道の駅構想の実現に向けた取り組み
- ③学校教育設備の整備に対する取り組み

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。
詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。☎ 019-611-2801

次期町政を担う決意は 2期目に挑戦したい



はせがわ かずお
長谷川 和男 議員
(矢巾明進会)

質問 4月29日任満了に伴う町長選に、立候補する意向が報道されたが、次期町政を担う決意を改めて問う。

町長 町長に初当選以来、自立と変革を目指して町政を担わせていただいております。議員各位をはじめ町民の皆様のご理解とご支援をいただくことができるのであれば、ぜひ2期目に挑戦させていただきたいと思っております。

質問 本町は、岩手医科大学の進出による医療都市革命とも言えるような、県の中核を担う大革命の渦中にあり、重要課題が山積している。

施策を確実に実行するため、政策顧問あるいは政策秘書が必要でないか。

町長 平成28年度にさまざま

な行政課題に対応するため機構改革を行い、町長を補助する体制を整えた。

新たな行政課題も出てくると予想されることから、政策的な助言をする政策秘書または特別秘書の創設を検討する。

目指す

まちの姿は

町民の自立した

生活の実現

質問 町が地方創生のキーワードとして、ウエルネスタウン構想を打ち出しているが、目指す姿はどのようなものか。

町長 健康をキーワードとした地域経済の活性化と、生活の質の向上であり、健康関連産業が町の経済を支える一つの柱となる。

町民が自立した生活を送ることができるとまちの実現を目指している。

質問 町営矢巾住宅団地は、戸別住宅として建設されてか



建て替えが求められる矢巾住宅

ら52年が経過している。位置的な環境状況と1450坪の面積があることから民間のノウハウを活用し、子育て世帯も定住できるような高層住宅を検討すべきでは。

町長 現在、矢巾住宅を含めた町営住宅全体の整備方針に

ついて検討している。

定住促進住宅の建設は、先進地事例を研究した結果、本町でも適用可能である。

矢巾住宅の戸建てを集約した建て替えは、敷地の有効活用と同時に定住促進につながるため、検討する。

投票率向上の取り組みは 選挙制度に関する教育が重要



こん 昆 議員
しゅういち 秀一 議員
(一心会)

質問 2019年は選挙イヤーとなっている。

最近では投票率が低下傾向にあり、今後より多くの方に政治に興味を持ってもらえるような取り組みが必要なことから、以下問う。

選挙に対する現状と改善策の考えは。

選挙管理委員長 投票率の向上には、民主主義の根幹である選挙制度に関する教育が重要であると考えている。

本町では、明るい選挙推進協議会が主体となり、主権者教育を行っている。

質問 学校での主権者教育は。
教育長 授業で選挙制度について学んでいるし、模擬選挙の体験などを通し主権者としての意識・理解を高めている。



町明るい選挙推進協議会主催の選挙啓発授業（矢巾東小学校）

がんに対する 支援策は

早期発見が重要で
検診の啓発を図る

質問 がん予防・早期発見推

進の取り組みは。

町長 がんの予防は、各地区で行われている健康教室等で予防の情報発信をしている。

早期発見も重要であり、検診の重要性について広報紙等で普及を行っている。

質問 がんに対する相談体制や、それらの情報の発信はどう行っているのか。

町長 対がん協会等と共同で知識の普及啓発を行っていて、今後岩手医科大学附属病院と情報共有して情報発信に努める。

ノーマライゼーション教育を

社会福祉施設を訪問
理解を深めている

質問 ノーマライゼーションに対する学校での教育をさらに推進していくべきでは。

教育長 小学校では、相手の立場になって考える生活指導を重点的に行っている。

中学校では社会福祉施設での職場訪問を行い、ノーマライゼーションの理解を深める学習を行っている。

質問 理解啓発の研修への一般参加が少ないので、もっと増やしていくべきでは。

町長 今後、岩手医科大学とも連携を取りながら進める。

※ノーマライゼーション：障がいを持つ者と持たない者とは平等に生活する社会を実現させる考え方

地域包括ケアの取り組みは 多世代対応の拠点を設置



たかはし やすこ
高橋 安子 議員
(町民の会)

質問 国が「地域共生社会」実現に向けての方向性を出してから1年半が経過した。本町での取り組み状況は。

町長 生活支援コーディネーターを町社会福祉協議会に配置している。

地域に不足するサービスの担い手の養成及び多世代対応型の交流拠点を設置するなどモデル事業を実施する。

質問 高齢化が進む中、町内において一人暮らしの高齢者が自宅で倒れ、2日後に発見されるという事案があった。公民館や空き家等を利用して、共同生活ができる「地域コミュニティホーム」を実施する考えはないか。

町長 今後高齢化が進む中で、家族が出かける際に安心して高齢者の見守りを頼めるような、愛あるサポートを目指していかなければならないと考える。
早めの実現できるよう検討する。



森山にある鹿妻幹線水路を完成させた功労者の像（白沢地区）

一般質問 町政を問う

引きこもりの
支援は

県などと

連携して対応

質問 40代以上の引きこもり

が増加し、80代の親が50代の子どもを養う8050問題が深刻化している。
本町の状況及び対応は。

町長 40歳以上のひきこもりについては、相談支援を通じて10人を把握している。
今後国の方針が出されることから実人数を把握し、岩手県ひきこもり相談支援センターや県央保健所などと連携して対策を進める。

本町の
先人教育は

社会科副読本で

偉業を紹介

質問 紫波郡町議会議長会での先人教育の研修で、子どもたちにも自分が育った町の先人について教えていくことも大切であると思った。
当町ではどのような指導をしているのか。

教育長 小学校4年生の社会科副読本「わたしたちの町やはば」で鹿妻幹線水路開発に携わった3人を紹介している。

新年度予算の基本方針は 子育て・健康寿命の強化



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)



今後各学校に早期設置が望まれるエアコン（不動小学校保健室のエアコン）

内職の位置と主な働き

質問 新年度の予算編成の基本的な方針は何か。

町長 定住促進、福祉・子育て支援や教育環境の整備、観光業や農林業の強化に全庁挙げて取り組む。

質問 重点的に取り組む事業

特筆すべき事業内容は何か。

町長 各小中学校の教室にエアコン設置をするなどの施設整備、健康寿命延伸の推進や、多世代型地域包括安心ネットワークの構築などである。

質問 決算審査の附帯決議や、町政懇談会等の意見・提言をどのように取り扱うか。

町長 ふるさと納税の特産品の開発やサービスの提供、生活道路や通学路の整備、健康増進運動、公共施設の老朽化対策や安心安全な防災体制の構築など、バランスを加味しながら政策決定し、より魅力ある町にしていく。

質問 総合計画やさまざまな計画との整合性は。

町長 7次総合計画や農業経営基盤強化促進、健康やはば21など各種計画の目標設定値と、整合性を図り予算に反映させていく。

質問 初期費用が発生しても、将来財政負担の軽減につながる取り組みを、積極的に

実施してはどうか。

町長 CO2排出削減対策モデル事業などのような将来に向け、財政運営を好影響に導く施策について積極的に実施したい。

質問 地方創生事業は、成果と連動した報酬の支払いができる契約が必要と考えるが。

町長 第三者の評価による成果に応じた費用を支払う契約方法の導入を、保険・医療・福祉分野で採用し進めたい。

施設移転後の ゴミ処理場は

有効活用策を検討

質問 平成41年の燃えるごみ施設移転後に、建設廃木材を処理する施設として活用する考えはないか。

町長 産業廃棄物の処理等に関しての所管は県であることから、県も含めて現施設の有効活用を構成市町と検討する。産廃処理の熱源で入浴施設などの継続利用も可能となる。

一般質問 町政を問う

歴史遺産と景観を後世に 景観法と文化財保護法で対応



みずもと じゅんいち
水本 淳一 議員
(町民の会)

質問 本町の未指定文化財と文化財価値を持つ明治以後の建築物の調査状況は。

教育長 未指定の文化財調査はまだ実施していない。建築物は、近代和風建築調査を平成17年度と18年度に実施しており、該当する建築物として高田の昆家住宅、白沢の藤原家住宅、村松家住宅の3件が「岩手県の近代和風建築」に掲載されている。

質問 歴史まちづくり法による文化財の保護と活用は。

教育長 本町には、歴史町づくり法に該当する箇所はないと考える。文化財の保護及び活用については検討していく。



明治時代に建てられた高田地区の昆家住宅（屋号 前田）

質問 開発が進む本町であるが、美しい景観を守ることも大切ではないか。

教育長 景観については、高層建築物等を建てる場合は景観法により、遺構等の保存については、文化財保護法により必ず許可が必要である。

**英語学力向上の
取り組みは**

**英検対策講座の
開設を検討**

質問 英語検定試験の希望者に検定料の補助を行っては。

教育長 家庭の経済的状況を考慮し、検定料の補助を行うことで英検の受験率向上が考えられる。数学検定試験や他の検定試験の受験状況も勘案しながら慎重に検討する。

質問 民間企業との連携による受験対策講座で検定合格・点数向上の支援を行っては。

教育長 英語力の向上及び合格率の上昇につながるものと考えている。

学力向上対策に今後ますます力を入れていく必要があるため、講座開設の方法などを検討したい。

質問 県内唯一の外国語学系を有する県立不来方高校と町内小中学校の連携強化を図り、児童生徒の英語学習支援、英語による総合交流を活性化させては。

教育長 現在、英語の学習支援総合交流を不来方高校の主催で実施しているが、今後、高校、小中学校側の双方の事情を考慮しつつ、連携を強化し、交流事業を行いたい。

徳丹城史跡の整備計画は 再度委員の意見を集約し決定



さいとう まさのり
齊藤 正範 議員
(矢巾明進会)



訪れる人が少ない徳丹城史跡（徳丹城木柵列）

質問 徳丹城史跡周辺の整備について、これからの計画を決める史跡整備活用委員会が開催されたが、どのような意見が出されたか。

教育長 復元については、主に外郭西門とその東西道路の整備に変更し、映像を活用し

た手法などを審議したほか、地域の活性化や徳田小学校移転後の活用などさまざまな意見が出された。

質問 来年度は、史跡整備計画の策定の期間になると説明されているが、どのように行っていくのか。

教育長 3月中に再度史跡整備活用委員会を開催し、出された意見を基に基本計画を修正、文化庁に認められた内容について、実施設計に着手し整備を進める予定である。

質問 徳田小学校が移転した場合、旧校舎の利用は可能か。

教育長 基礎部分を取り壊さずに、校舎を再利用することは可能である。

デマンド交通の 町民意見は

利用者を第一に 考えて運行

質問 乗り合いタクシーによるデマンド交通の試験運行

は、2月末ごろより実施されるが、利用した住民の意見はどの程度かけて集約するのか。

町長 意見を集約する期間は、半年程度と考えている。

質問 事業内容を変更する必要がある場合、どの程度の期間が必要か。

町長 早くても3カ月程度と考えている。

質問 町民の足となるデマンド交通は、町民が利用しやすい運行形態に早くすることが大切である。

意見集約期間は1カ月程度でも良いのではないか。

町長 あくまでも町民が利用しやすい環境が第一と考えていることから、意見集約は方法も含め検討し、素早い対応を図っていきたい。

質問 実施事業者に対する町の費用負担は。

町長 タクシー利用料金に事務費を加算した金額となる。

教育環境の改善は 180教室にエアコンを設置



あかまる ひでお
赤丸 秀雄 議員
(一心会)



子どもたちに人気の図書センターこどもコーナー（やはば一く）

質問 町内各小中学校へのエアコン設置時期・タイプ・数と場所は、どう考えているか。
教育長 6月を目途に教室や職員室、特別教室の180カ所に、冷暖房用の壁掛けでツインタイプの設置を予定している。

質問 教育の原点は読書と言われ、幼児期からの習慣づけが必要である。図書センターの活用と蔵書充実の今後は。
教育長 図書センターの蔵書は5万3200冊あり、4割が児童書である。子どもコーナーやお話し広場を配し、幼児に配慮しているほか毎月2回幼児向けに読み聞かせを行っている。蔵書はスペース等を考慮し、9万冊まで増やす予定である。

楽々クラブへの 支援は

運営に支障がないよう努める

質問 楽々クラブのスポーツくじ助成がなくなると聞くと、生涯スポーツによる健康維持増進の必要性から、ぜひ町の支援を望むが、その考えは。
教育長 健康には生涯スポーツによる健康づくりが重要な役割を担うことから、新年度に支援してクラブ運営に支障がないよう努める。

質問 健康は、笑う・しゃべる・食べるが一番と言われている。自治公民館に人を集める工夫をして健康づくり推進を図る考えは。
町長 今年度中にモデル地区を設定して、自治会の協力を得てお茶っこの会などを中心とした健康増進策を早期に立ち上げるように努める。

デマンド交通の 説明は

1月から町民に
説明会を開始

質問 デマンド型タクシーの運行導入前に、利用者対象にヒアリングを実施して、運賃や運行時間、形態の要望把握をすべきと思うがその考えは。
町長 1月からこまめな説明会の開催、アンケートやヒアリングを行い、多くの町民の意見を聴き、特に利用の多い高齢者の要望に配慮して、運行に反映できるよう努める。

町営住宅問題の対応は 建て替え含め対処を検討



ひろた きよみ
廣田 清実 議員
(町民の会)

質問 戸建て町営住宅は建築後50年以上経過し、老朽化が進んでいる。耐震問題や火災等の防災にも問題があるので、以下対策を問う。
建て替えの構想はあるか。

町長 町営住宅整備方針検討業務委託において、年数が経過した戸建て住宅は、建て替えや用途廃止を視野に入れ修繕を行う。同時に長寿命化を図る方向づけを行う。

現状課題の整理や住宅入居者の意向を把握するためのアンケート調査を実施し、今後の住宅全体の整備方針について検討している。

質問 三堤町営住宅の風呂場のユニット化の考えは。



開催された臭気問題説明会（イセファーム徳田農場）

町長 三堤住宅に入居する際には、浴槽と風呂釜の購入が条件であることを説明、納得して入居していただいている。現時点ではユニット化は考えていないが、今後退去時のリフォームの際に、浴槽の改修も含め検討していきたい。

高層町営住宅の 可能な町有地は

7カ所が建築可能

質問 現在600世帯の造成計画があるが、人口3万人に

は不足と思われる。戸建ての町営住宅を集約し高層住宅建設が必要と考えられるが、建築可能な町有地はあるか。

町長 現在、町営住宅の建設可能な町有地は、市街化区域内、市街化区域近隣及び旧村の中心地で、おおむね400平方メートル以上の土地を想定すると、旧矢巾中学校跡地、室岡のゆうゆう広場やその周辺など7カ所ある。

イセファーム の移転は

移転を

前向きに検討中

質問 イセファームに移転の申し入れをしているが、現状と今後の課題は。

町長 固定資産税や法人町民税においても町に貢献していただいている。雇用についても町民8人が勤務している。現在、移転の申し入れに対して、県北への徳田農場移転を前向きに検討していると同答をいただいている。

排水能力着目した治水策を 周辺状況を確認し対応



かわむら あきお
川村 農夫 議員
(一心会)

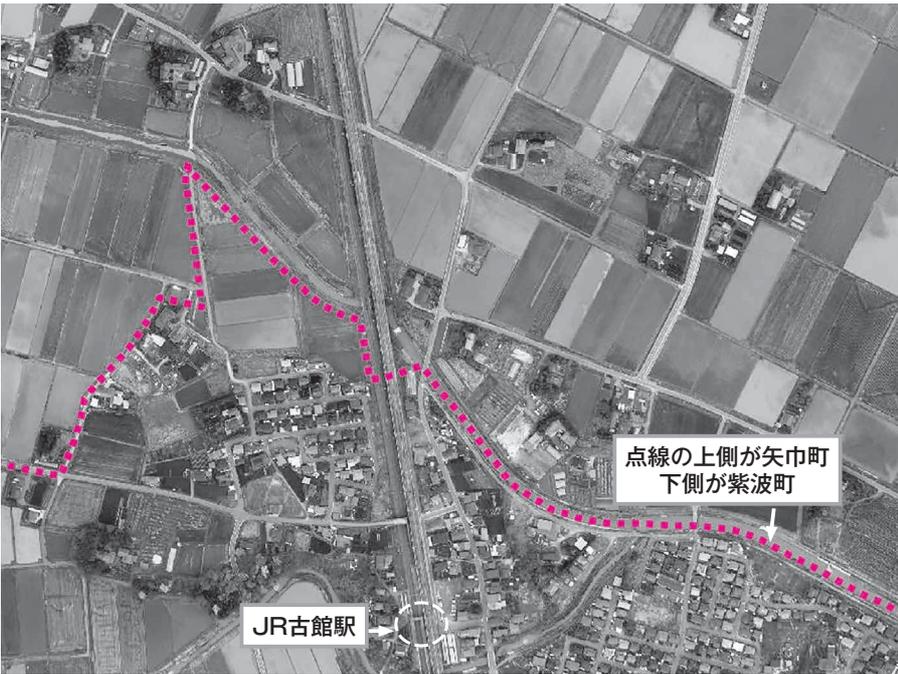
質問 農林水産省補助事業の排水路は、10年確率で浸水の危険がある。

洪水時の住宅浸水被害を防ぐため、水路の排水能力や、吐き出す基幹河川の持つ洪水エネルギー標高に着目するべきである。

さらに、河川への吐き出し能力や住宅地盤の盛り土標高の検討など、慎重に取り組むべきではないのか。

町長 開発行為申請は町で事前審査を行い、岩手県開発許可審査基準に基づき審査を経て県が許可する。

近年の異常気象や、開発後の浸水被害もあったことから、周辺の状況をよく確認して治水対策に努める。



将来開発が求められる古館駅周辺の矢巾町側

一般質問 町政を問う

古館駅等との 協議連携は

一体的に取り組む

質問 本町の施策展開には矢

幅駅を中心としてばかりでなく、周辺市町との連携を図るという視点を持つべきである。町南部では古館駅周辺の再開発など紫波町との協議連携を図るべきではないのか。

町長 盛岡南道路の延伸は、盛岡・矢巾・紫波のまちづく

りの基幹をなすものであり、周辺とも深化させていっしょに行う有意性も出てくる。古館駅に関しては、紫波町とも一体的に取り組むために協議していく。

デマンド交通を リセットすべき

住民視点に立った
施策に向けていく

質問 デマンド型交通は、交通弱者に的を絞って、安価で交通手段の保障をしますと手を差し伸べて「和といったわりの町」にするべきである。

運行の理念が、議会側の交通弱者対策と、当局の公共交通と全く違う。

リセットをすべきではないのか。

町長 試験運行期間に、交通弱者対策の利用者負担も含め一定の結論を得たい。

公共交通の状況を把握しつつ、住民視点に立った施策に向けていきたい。



おがわ ふみこ
小川 文子 議員
(日本共産党)

子どもの医療費助成拡充を 18歳までの拡大を検討する



子育て世帯に望まれていた小児科医院（けんたろうこどもクリニック）

質問 高校卒業までの医療費が検討されているが、高校生だけでなく、18歳まで対象拡大すべきでは。
町長 県内16市町村が子育て環境充実のため、18歳までを対象としており、本町も前向きに検討する。

質問 現在、就学前までとなっている窓口での医療費支払いが発生しない、現物給付の状況はどうか。
町長 償還払いとなっている医療費の支払いを、平成31年度から小学6年生まで対象拡大の準備を進めている。

ふるさと納税の見直しは

10月末で完了

質問 総務省から返礼品は地場産品、返礼率は30%を超えないよう見直しを求められたが経過は。
町長 総務省と直接見直しの内容を協議したうえで、5カ所のポータルサイト全てを10月末で見直しが完了した。約1000品目の返礼品が約800品目になった。

内外の飲食店で飲むことが出来るよう取扱店の拡大を図る。

質問 返礼品として今後の地場産品の取り組みの方向性は。
町長 返礼品は、これが地場産品だと胸を張って説明でき、その特産品が感謝の気持ちとして伝わるのが重要である。納税を通じて矢巾町を知ってもらい、応援団となってくれる取り組みを行いたい。

風張住宅の改修急げ

来年度で改修完了

質問 町営風張住宅は特にも老朽化が著しいため、今年度全戸の改修を。
町長 今年度は7戸を改修済。残り11戸は来年度改修する予定である。

質問 全ての町営住宅に網戸の設置を求めたが進捗状況は。
町長 来年度は三堤住宅4棟の北側の窓に設置し、その他も計画的に改修予定である。

町長 ふるさと納税の返礼品として採用するとともに、町

として採用するとともに、町

学校給食費無料化の考えは 助成制度の確立を国に要望



かわむら
川村 よし子 議員
(日本共産党)



共同調理場から各学校に届けられるおいしい給食

質問 給食の無料化や一部を助成する市町村が広がってきているが本町の考えは。

教育長 食育の推進において給食は重要である。今後、無償化による効果と財源確保等を調査研究し、助成制度の確立を国に要望していく。

質問 当町の給食費の集金体制を銀行振り込みにする考えはないか。

教育長 給食費は小中学校共に42地区の集金担当者に依頼し、毎年収納率は100%となっている。

個人振り込み方法は保護者からの意見も踏まえ検討する。

質問 金融機関等への個人振り込み方法にした場合は、どの程度の経費が必要か。

教育長 小中学校合わせて、800万円と試算している。

町内業者に エアコン工事を

町内業者も含め 一括発注する

質問 小中教育施設のエアコン設置は6月までに施工予定であるが、町内の経済循環を考慮し、町内業者に発注できないか。

町長 設計・施工を一括発注する方式で、町内業者でも入札資格があれば参加できる。

質問 エアコン設置は、国助成が3分の1、町の負担は3分の2である。町内業者に分離発注すれば、経済効果が期待できるのではないか。

町長 一番危惧しているのは、電気工事の施工に時間がかかることが予想されるため一括で発注したい。

質問 児童福祉施設・介護施設・社会福祉施設での未設置の状況は。

町長 社会福祉施設のうち3施設は未設置である。

国保の均等割 廃止を

国の方針を待つ

質問 国保加入の70%は収入が低い世帯である。子育て世帯を対象に、均等割廃止や減免規定を設ける考えはないか。

町長 均等割廃止や減免規定を設ける考えはない。全国市町村会を通じて、国に要望しているので、国の方針を待ちたい。

地区計画制度の説明会を 旧村単位を基本に実施



やまざき 山崎 道夫 議員
(一心会)

質問 町人口3万人実現に向け、都市計画マスタープランの活用で、有効な土地利用を図らなければならない。ガイドライン策定に向けた取り組みと、市街化調整区域のまま土地利用が可能になる地区計画制度について、住民への説明会を実施するべきではないか。

町長 地区計画制度を活用しての土地利用方針とガイドラインを策定中であり、1月以降県と協議調整する。

その後都市計画審議会に諮り、4月から制度の活用ができるよう進めている。

また、住民等を対象にした地区計画等の説明会は、旧村単位を基本に考えていきたい。



にぎわいのある道の駅うご「端縫いの郷」(秋田県)

質問 新たな住宅建設地について、現在、県などの関係機関と協議を進めているとのことであるが、今後のスケジュールは。

町長 住宅建設地は、市街化区域編入が必要であり、県や関係機関、国と協議・調整を

行う。

それらが整い次第、県による市街化区域編入の都市計画決定手続きが行われ、平成32年度を目途に、着手の予定である。

質問 雇用の確保と若者の定

住化に向け、新たな工業団地の整備をどう進めるのか。

町長 矢巾スマートインターや国道4号周辺のほか、既設の工業団地に接続する形での設置を第一に、民間活力を活用し、開発整備を行ってきたい。

道の駅実現に向けた取り組みは

先進地事例を

調査し検討

質問 道の駅構想の基本方針と事業計画策定は、どこまで進んでいるのか。

町長 これまで東北、関東、信越の道の駅33カ所の先進地事例を調査し、11カ所は設置者や駅長から聞き取り、資料等の提供を得ている。

これらのデータを基に、道の駅の候補地の決定ができるよう、第7次総合計画の後期計画に盛り込み、事業計画を策定し、実現に向け取り組んでいきたい。

デマンド型タクシーは戸口対応を

平成29年定例会6月会議において設置された交通に関する調査特別委員会（委員長：米倉清志）は、12月13日の定例会に最終報告を行いその調査を終え廃止した。今後も引き続き議会にて必要な調査を行い、課題解決に向けて町当局と共に取り組んでいくこととした。



栗石町では予約制のバスが運行されている
(あねっこバス 写真提供：栗石町)

調査課題

医大関連道路整備・
交通弱者対策など調査

- ① 岩手医科大学附属病院移転に伴う関連道路の整備等に関する調査
- ② 高齢者など交通弱者対策に関する調査
- ③ バス路線網再編等、公共交通に関する調査
- ④ 通学路の安全、交通政策に必要な事項

安心安全な

まちづくりのための交通政策を

議会からのお知らせ

- ① デマンド型タクシーは登録制で戸口から戸口とし、利用料金は1乗車当たり300円以下に。
- ② 徳田橋から矢幅駅までの県道は4車線化の早期実現を。
- ③ 県道不動盛岡線の通勤時間帯の渋滞緩和のため信号機の運用精査を。
- ④ 都市計画道路高田煙山線の早期実現を。
- ⑤ 国道4号「盛岡南道路」の早期実現を。
- ⑥ 盛岡市道津志田白沢線の早期整備実現を。
- ⑦ 県道盛岡石鳥谷線の段差解消補修工事を早急に実現を。
- ⑧ 町道は、路盤面の劣化が著しいため、年次計画を立て全面的に補修工事をする。
- ⑨ 町道西部開拓線は、県道昇格を進め歩道や信号機の早期設置を。
- ⑩ 古館駅を利用する矢巾町民も多いことから、紫波町と連携して道路整備を。
- ⑪ 南矢幅踏切の西側の町道に早急に歩道設置を。
- ⑫ 町道中央1号線の信号機設置に伴う交通渋滞防止策を。
- ⑬ 町道中央1号線の4車線化は、見前地区から間野々地区まで早期実現を。
- ⑭ 矢巾スマートICから岩手医科大学附属病院まで
- ⑮ 通学路の見通しが悪く暗い場所などの早期改善と歩道の設置を。
- ⑯ 通学路にある危険と思われるブロック塀は、専門業者等による安全性の確認と対応を。
- ⑰ ゾーン30の必要な場所は、今後設置に向けた検討を。
- ⑱ 矢巾町通学路交通安全プログラムに右記3項目の明記を。
- ⑲ 矢巾町交通安全対策協議会の構成員にスクールガードの追加を。

ひとこと!



平野 美千代さん (新田1区)



議会を傍聴する筆者

もっと町民の話を聞く場を

議員がデマンドタクシーに
関する視察をした際の報告が
「議会だより」には写真のみ
で終わっています。好事例の
視察内容の具体的な報告が欲
しいものです。

次に町民と議会との懇談会
についてですが、女性や障が
い者の参加が極めて少ないと
思います。しかし、議会傍聴
も含めてそういった場所にひ
とりで参加して発言するとい

うのは、なかなか勇気のいる
ものです。

そこで提案ですが、時には
女性を対象に女性議員とのミ
ニ懇談会あるいは、どこかの
施設で障がい者とのミニ懇談
会を開催というのはどうで
しょうか。

また、若い世代は出席でき
なくてもパソコンでの参加と
いうことも考えられますね。
ぜひ、ご一考をお願いします。

町民と町議会との懇談会

子ども医療費の窓口払いは

10月27日に矢巾町公民館と藤沢公民館の2会場で開催した懇談会には、計28人の皆さまに
参加いただき、ありがとうございました。懇談会での主な質疑を紹介いたします。
今回の懇談会は、2月9日を予定しています。

医療費窓口払いなしに

質問 小学生の入学後の医療費を就学前と同じように、病院の窓口での支払いをなくしてほしい。

回答 来年度からの医療費の窓口支払いは、小学6年生まで拡大して就学前の制度と同じようになる。

玄関まで来てほしい

質問 デマンド交通は、冬場の時だけでも玄関まで来てほしい。

回答 町では1月から試験運行として、停留所方式で料金は500円の設定をしている。議会では戸口方式で要望していく。

水道料値上げの理由は

質問 水道料金が値上げになった理由は。

回答 古い水道管を交換していかねばならないことから値上げになった。医大では大量に水を使うこともあり、今までの施設が老朽化したことから配水場が新しく造られた。

徳丹城の活用は

質問 徳丹城の活用はどのようになっているか。

回答 地域で徳丹城活性化委員会を立ち上げた。徳丹城の整備は総括報告書

を作成中で、これが完成しないと計画ができない。その後、活用について考えていく。



多くの意見が寄せられた懇談会 (町公民館)



2年連続3度目の全国大会出場を果たした矢巾北中特設合唱部 (岩手県民会館)

第71回全日本合唱コンクール全国大会出場 同声の部 銅賞受賞 矢巾北中学校 特設合唱部

部長 3年 坂本優月^{ゆづき}さん

感謝を胸に新しい目標へ

一昨年の12月から始まった特設合唱部部長としての活動も、矢巾町の皆様の温かい応援や、顧問の先生方のご指導のおかげで笑顔で終えることができました。

昨年の3月に行われた「声楽アンサンブルコンテスト全国大会」を皮切りに、8月に行われた楽天生命パークでの国歌斉唱、町内の小学生の皆さんとの合唱交流、矢巾町秋祭りや芸術祭でのステージなど、たくさんの経験をすることができました。

9月29日に宮城県多賀城市で行われた「全日本合唱コンクール東北支部大会」では、混声・女声共に金賞をいただくことができました。女声は47校中第3位をいただき、10月28日長野市ホクト文化ホールで行われた全国大会のステージに立つことができました。本番ではこれまで支えてく

ださった方への感謝の気持ちを込め、山口先生を含め33名のメンバーと一緒に同じステージに立てることを心から喜び、楽しんで歌うことができました。

さらに、全国レベルの合唱を聴き、とても高い壁を感じました。演奏面だけではなく行動面でも、ひとりひとりのコンクールに挑む態度やチームとしてのまとまりなど、たくさんのことを学ぶことができました。

私たち三年生はもう引退してしまいましたが、このメンバーで音楽ができたことをとても嬉しく思います。これまでの経験やたくさんの方に支えていただいたことを忘れることなく、それぞれの新しい目標に向かって頑張っていきたいと思います。応援してください。皆様、本当にありがとうございます。

あ と が き

12月9日に町連合婦人会主催の第40回歳末助け合い演芸会が田園ホールで盛大に開催されました。13団体が参加し、歌や踊り、方言による演劇もあり、和やかな時間が過ぎました。



12月会議の一般質問には、12人が登壇しました。

議会だより読者の意見聴取では、一番読む記事に一般質問を上げる方が多かったです。編集ではその点に留意して、読みやすくしました。今後も、読者目線での製作に努めます。

編集委員 赤丸 秀雄

発行・編集責任者

議長 廣田 光男

編集委員

委員長 昆 秀一

副委員長 齊藤 正範

委員 赤丸 秀雄

水本 淳一

小川 文子



古紙配合の再生紙と植物油インキを使用しています

《ご意見はこちらまで》
E-mail : gikai@town.yahaba.iwate.jp

いわてやはば議会だより207号
平成31年1月16日発行